

# 第27回全国女性消防団員活性化徳島大会を開催

(公財)日本消防協会

令和4年11月22日(火)、徳島県徳島市のアスティとくしまにおいて、第27回全国女性消防団員活性化徳島大会を開催し、全国から約1,400名の女性消防団員等関係者の方々が参加しました。

全国女性消防団員活性化大会は、全国の女性消防団員が一堂に集い、日頃の活動やその成果を紹介するとともに、意見交換を通じて連携を深めることにより、女性消防団員の活動をより一層活性化させることを目的として毎年開催していますが、新型コロナウイルス感染拡大により令和2年及び令和3年は開催を見送りましたので、3年振りの開催となりました。

第27回全国女性消防団員活性化徳島大会は「ようこそ！藍の国・愛の国とくしまへ」をテーマに、香川県東かがわ市消防団、広島県広島市安佐北消防団及び和歌山県和歌山市消防団による防火防災啓発劇や有森裕子氏を迎えての記念講演のほか、徳島県知事がコーディネーターを務めていただき女性消防団員による活動事例発表やパネルディスカッションが行われました。

今回は新型コロナウイルス感染症対策として、参加人数の制限や、情報交流会は中止となりましたが、大会の中で徳島県の様々な郷土芸能を披露していただき、地域を越えての交流が図られ活気の溢れる大会となりました。

【大会概要】		【大会プログラム】
1	大会名称 「第27回全国女性消防団員活性化徳島大会」	8:30 開場
2	大会テーマ 「ようこそ！藍の国・愛の国とくしまへ 『女性パワーを盛り上げ大きな大きな渦へ！』」	9:30 ウエルカム ミュージック (徳島県警察音楽隊)
3	開催日 令和4年11月22日(火)	10:00 開会式
4	開催場所 アスティとくしま (徳島県徳島市山城町東浜傍示1番地1)	10:40 防火防災啓発劇(3団体)
5	主催 総務省消防庁 公益財団法人 日本消防協会 公益財団法人 徳島県消防協会 第27回全国女性消防団員活性化徳島大会実行委員会	11:50 アトラクション① 阿波人形浄瑠璃 (神領小学校学童保育所すだち座)
6	共催 徳島県・徳島市	13:00 記念講演 元女子マラソン選手 有森裕子氏 「よろこびを力に・・・」
		14:10 活動事例発表者とのパネルディスカッション
		15:50 アトラクション② 郷土芸能披露(阿波おどり振興協会選抜連)
		16:35 閉会式

## 開場



会場の様子  
名称 徳島県立産業観光交流センター  
愛称 アスティとくしま



ウエルカム ミュージック  
徳島県警察音楽隊

## 開会式



大会旗入場  
神山町消防団 (旗 手)仁志美樹さん  
(補助者)多田千恵子さん 久保春美さん



開会宣言  
鳴門市消防団 藤本佳代さん



主催者挨拶  
消防庁 前田一浩長官(代理) 佐藤茂宗地域防災室長



主催者挨拶  
公益財団法人日本消防協会 秋本敏文会長



主催者挨拶  
公益財団法人徳島県消防協会 井住正三会長



開催地知事挨拶  
徳島県 飯泉嘉門知事



開催地市長挨拶  
徳島市 内藤佐和子市長

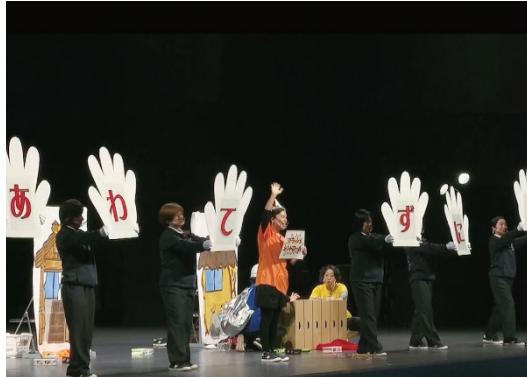


司会進行  
三好市三野町消防団 野田冬美さん  
三好市三野町消防団 太田由美さん  
小松島市消防団 竹中浩子さん

## 防火防災啓発劇



香川県東かがわ市消防団



《防災だよ 1. 2. 3》

童話「三匹の子ぶた」を題材にしたオリジナルストーリーで、女性消防団員らが日頃から災害に備えることの大切さを呼びかけました。観ている人が楽しみながら防災を学べるように工夫されており、普段は子どもからお年寄りまでを対象に、市防災訓練や敬老会等で披露されています。

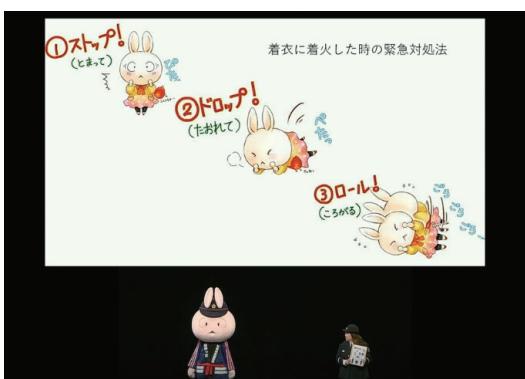


広島県広島市安佐北消防団 《自分の命は自分で守ろう！～災害から学ぶ避難のあり方～》



HIROSHIMA 消防隊

2度の豪雨災害の経験から、早期避難を行うことが命を守る最善の手段であることを改めて認識したことをきっかけに、難しい言葉が並ぶ避難情報等について、もっと身近に感じてもらうために主婦と消防団員のやりとりを通じて学習できる啓発劇を披露していただきました。

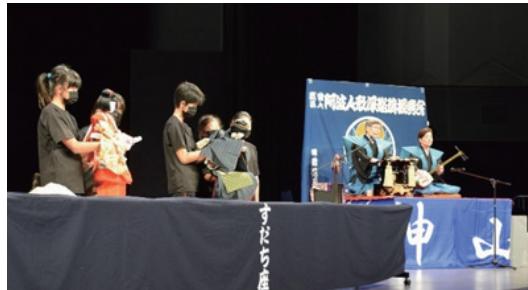


和歌山県和歌山市消防団 《和びっこちゃん、江戸へ行く！》



和歌山市消防局のマスコットキャラクター和びっこちゃんが江戸時代にタイムスリップし、町火消いろは四十八組を編成した紀州出身八代将軍徳川吉宗や町火消に出会い、消防団の歴史や、「自分たちの町は自分たちで守る」という消防団の使命、防火の大切さを学びながら女性の入団促進を図る劇を披露していただきました。

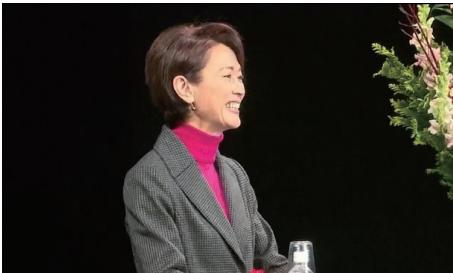
## アトラクション①



神領小学校学童保育所すだち座 『阿波人形浄瑠璃』

神領小学校学童保育所すだち座の皆さんによる「阿波人形浄瑠璃」を演じていただきました。

## 記念講演



有森裕子さん

『よろこびを力に…』と題し、学生時代にマラソンをやりはじめ、恩師との出会いとスポーツを通して人との繋がりから、『励まし』『励まされる』応援を喜びの力に変化させることをお話していただきました。

スポーツはもちろんのこと、消防団の活動にも取り入れられる大変貴重なお話を元オリンピック選手の立場からしていただきました。

## 活動事例発表者とのパネルディスカッション



### テーマ

輝く女性消防団員～私たちが守る地域の未来～

### パネリスト

青森県青森市青森消防団

柳谷恵美子さん

山梨県北杜市消防団本部女性消防隊

千野智子さん・野澤穂多香さん

徳島県徳島市消防団

山本朋子さん

埼玉県飯能消防団

青柳慧己さん

### コーディネーター

徳島県 飯泉嘉門知事

飯泉嘉門徳島県知事がコーディネーターとなり、テーマを《輝く女性消防団員私たちが守る地域の未来》と題して、色々な取り組みや課題の経験談を交えて徳島県内で消防・防災分野で活躍する女性消防団員とともに、意見交換をしました。

冒頭、飯泉嘉門徳島県知事からは、『徳島県では、都道府県防災会議における女性委員の比率が48.1%（全国平均16.1%）で、平成28年度から6年連続全国1位。人口10万人あたりの女性消防団員数では、45.85人（全国平均21.6%）となり全国5位となっている。知事、女性職団員及び県民が意見交換し地域の課題を解決している。』との紹介がありました。また、女性消防団員の活躍に向けた県の取り組み状況を、動画「女性消防団員スキルアップ研修（心肺蘇生法・ロープワーク・段ボールベッド）」「ママ防災士との連携事業（女性消防団員とママさん防災士を繋ぎ、家庭との両立等について考えるワークショップを開催）」「パワーアシストスーツ体験会（女性消防団員の体力面を補完するパワーアシストスーツの導入検討に向け体験会を実施）」の視聴後、「女性消防団員ならではの活躍及び徳島県としてバックアップをしている。』と紹介がありました。

**女性消防団員の活躍に向けた県の取組み**

**女性消防団員スキルアップ研修**  
女性消防団員を対象に、実践的な消防技術を習得できる研修を実施

(心肺蘇生) (ロープワーク) (段ボールベッド設営)

**ママ防災士との連携事業**  
女性消防団員と「ママさん防災士」を繋ぎ、家庭との両立等について考えるワークショップを開催

**パワーアシストスーツ体験会**  
女性消防団員の体力面を補完する「パワーアシストスーツ」の導入検討に向け、体験会を実施

飯泉嘉門徳島県知事からの紹介後、消防現場や防災分野で活躍するパネリストの女性消防団員の皆さんから、活動事例や課題について発表がありました。

まず初めに、青森県青森市青森消防団柳谷恵美子さんからは、《 消防団入団促進プロジェクトチームと共に》と題し『平成29年団員の確保対策として学生消防団活動認証事業を開始し在学中に青森市長が認めることで就職活動が有利になり、さらに18歳から25歳までの消防団員を中心に自由な発想で新たな活動を行うことを目的とした「消防団入団促進プロジェクトチーム」を結成した。成人式や大学学園祭で消防団員募集やAED取扱い講習等の活動をしている。その他、青森県知事と消防団員が対談し、入団動機や活動内容の報告や消防団がかかえている課題や要望を直接話し合うなどの消防団の確保に向けて幅広い活動をしている。自分たちで消防団を活性化したい方法としては、市内を走るバスに消防団員募集のラッピングを施した広報を行ったことで問い合わせを多数いただいた。』との発表をしていただきました。



次に山梨県北杜市消防団本部女性消防隊千野智子さん及び野澤穂多香香さんは、《知ってください！私たち「女性消防隊」です！》と題し、『発足からコロナ禍までは、市内の祭事等で初期消火訓練や防災クイズ、女性消防隊の紹介を行った。また、第23回全国女性消防操法大会への出場、放課後児童クラブや北杜市出初式での消防操法を披露するなどして女性消防隊を知ってもらう活動をしていたが、新型コロナウイルスが蔓延しイベントの中止や訪問しての防災教室が開催できない状況となった。何かできることを考えた結果、高校3年生を対象に消防団PRの付箋を配布したことや、SNSを使った防災に関する動画を配信するなど工夫した活動をしている。これらをきっかけにPTAの講師依頼や防災訓練の依頼が入るなど活動の幅を広げている。課題としては女性隊員の増員対策であり、様々な活動があることから分業が図れるため増員を必要としている。』との発表をしていただきました。



その次に、徳島県徳島市消防団山本朋子さんから、《徳島市消防団の活動事例 女性消防団の活動》と題し、『女性消防団の活動は男性と一緒に活動を行っており、火災や水難事故、風水害事案など、あらゆる災害に対応している。また、消防ポンプ自動車の運転や消防ポンプ機関操作、主婦層が訓練参加しやすい時間帯に実施する放水訓練、地域参加型訓練など様々な取り組みをしている。そして、消防団の活性化及び地域防災力向上のため、消防団活動の市民向け広報を実施するとともに、防火防災意識の啓発を図ることを目的とした「広報啓発班さくら連」が発足し、防災教育や普通救命講習のアシスタントなど様々な活動を実施している。女性ならではの視点や、気遣いを活かした活動を展開している。』との発表をしていただきました。



そして、埼玉県飯能消防団青柳慧己さんからは、《頼もしい女性消防団員を目指して 全国の仲間と共に》と題し『消防団に入団した理由は色々あると思うが自分が入団したきっかけは、救命講習を受講し心肺蘇生法を活かした自身の救命体験から、消防団員募集ポスターを見て自ら消防団に入団した。所属する飯能女性消防団「は組」は、当初、何の活動をするかが課題だった。できることを話し合った結果、消防団員の普通救命講習取得率100%を目標として女性消防団員全員が応急手当普及員となり、団員を対象に普通救命講習を実施した。また、受講者に分かりやすい説明方法などを取り入れ地域の防災訓練に参加した。一番の転機は、消防団幹部候補中央特別研修に参加し、全国の仲間との交流を通して女性消防団員の存在意義を再確認し、活性化大会で活動発表することを目標に活動している。』との発表をしていただきました。



最後に、コーディネーターの徳島県飯泉嘉門知事から、未来の消防団のあり方として「10年後の未来、消防団はどうあるべきか」をパネリストに問いかけ、パネリストからは、『時代や行事に合わせて常にアップデートしていくなければならない。災害の多様化を見据え、現在よりも消防団は地域の防災の中核を担う存在になる必要がある。サラリーマン団員の増加によって昼間は地元に居ない現象に拍車がかかると考えるため、地域に根付いた生活をしている女性が団員として活動することが重要と考えている。特定の任務や役割を担当する機能別消防団員の必要性も高まると考えている。特別職公務員の自覚を持ち、周りの人から憧れる存在を目指す。』との意見がありました。



これらの意見から徳島県飯泉嘉門知事は、『自主防災組織との連携、家族や職場からの理解、女性消防団員の知名度向上、地域社会の理解が深まるよう女性消防団員の更なる活躍を行政としてもサポートていきたい。』と発言され、シンポジウムは閉会しました。

## アトラクション②



阿波おどり振興協会選抜連 《郷土芸能披露》

阿波おどり振興協会による阿波おどりを披露していただきました。来場者は阿波おどりを用意された席前で体験でき楽しむことができました。

## 閉会式



大会宣言  
徳島市消防団 山下和美さん



お礼の言葉  
三野町消防団 野田冬美さん



大会旗引継  
徳島県消防協会 井住正三会長 → 日本消防協会 秋本敏文会長 → 石川県消防協会 鍋谷有介会長



次期開催地代表挨拶  
石川県消防協会 鍋谷有介会長



歓迎のメッセージ披露  
第28回全国女性消防団員活性化 石川大会  
《ようこそ 石川へ 百万石の花と咲け！ 輝く女性消防団》  
令和5年11月16日(木)  
いしかわ総合スポーツセンター メインアリーナ



お礼の挨拶  
公益財団法人日本消防協会 秋本敏文会長



閉会宣言  
阿波市消防団 柏木咲良さん

### お礼の挨拶

第27回全国女性消防団員活性化徳島大会の閉会にあたり、秋本敏文日本消防協会会長からお礼の挨拶がありました。

徳島大会は令和2年及び令和3年と中止となり、我慢我慢でしたが、関係の皆様のご尽力で徳島大会を無事成功させることができました。防火防災劇やシンポジウムに出演された皆さん、大会開催に関わっていただきました皆さん、多大なご支援・ご協力を賜りました方々、関係諸団体の皆さんにも心よりお礼申し上げます。

「藍の国・愛の国」で女性パワーが益々大きな渦になり、この大会で得られたものが全国各地で女性パワーの更なる発展につながっていくことは間違いないだろうと思います。また、女性パワーのみならず男性も一緒にになって「いくぞ！」という気持ちになられたと思います。

ひとりひとりの力を最大限に発揮して地域の総力を高め、そしてそれぞれの特技を活かし、女性にしても男性にしてもそれぞれの持っている力を発揮していくことが重要です。

近年は線状降水帯といわれているような局地的な集中豪雨が大きな災害をもたらしています。消防関係者としては、雲の様子を見ながら雨のことを考えていかなければなりませんし、あるいは大雨が降った時に山が崩れるということや、それ以前に山がどのような管理をされているときに崩れるのかの知識が必要になります。今は昔の活動では済まなくなっています。情報収集し判断するといったことは、男性であろうと女性であろうと日頃から関心をもち、できることから勉強しておく。それぞれの特技を発揮し、総力を高め、そして地域の安全を守っていくことが大切だと考えられます。

終わりになりましたが、令和5年は石川県で全国女性消防団員活性化大会を開催します。大会を通して一層力強い連帯ができていくことを楽しみにしています。

それでは、石川県でお会いしましょう。ありがとうございました。

### 会場風景

PR展示コーナー



全国女性消防団員活性化徳島大会の様子

